（文中敬称略：順不同）　　令和7年10月2日

第41回 一ホ会（いちもくかい）

テーマ「星空へのいざない」

会場の段取り、予約は馬場久枝様にお願いいたしております。

今回の開始時刻は１８時からです	世話人	ハラカワシュウイチロウ 原川修一郎

アドレス変更です　お申込みは　harakawa4286@icloud.com

宮崎氏撮影の星空　携帯電話　090－7793－8376

近畿鴻峰会　会員の皆様

お元気でご活躍のことと存じます。本日はご参加誠にありがとうございます。

1）日時　2025年10月2日（木）18時～19時　講演会　/　19時過ぎ～20時30分ころ　夕食懇親会

2）会場　大阪弁護士会館　会議室は当日 1階の案内板をご確認願います。

大阪市北区西天満1－12－5　（電話06－6364－0251）

3）講演者様　第91期　宮崎　健二　氏　ご講演60分程度

（みやざき　けんじ）

宮崎氏近影

映像モニターを使用して宮崎氏撮影の実際の星空をご覧いただきます。

名前：宮崎　健二（1966年　昭和41年8月1日　生まれ　５９歳）

生まれ：山口県美祢市（美祢郡）美東町

経歴　・1982年　美東中学校卒業

・1985年　山口高校９１期卒業

ご出席予定者（合計17名）	順不同	近況のお話（夕食懇談会で）	2025.9.19現在
64 期	松永　勝 様　※	74 期	工藤　義夫 様
67 期	橋本　洋之 様	77 期	岩佐　善雄 様　※
67 期	田辺　勇次 様	78 期	本廣　隆之 様
67 期	土井　輝滿 様	81 期	松原　武夫 様
68 期	齋藤　直美 様	81 期	田原　幸夫 様
72 期	中村　英夫 様	91 期	宮﨑　健二 様
72 期	南　正晴 様		※講演会のみ
72 期	藤本　春紀 様		
73 期	山川　清 様		
74 期	馬場　久枝 様	74 期	原川修一郎 事務局

第42回　2026年2月5日 講師　本廣　隆之　様（78期）

2025.10.02 一木会の紹介

１．自己紹介

名前：宮崎　健二（昭和 41 年 8 月 1 日　生まれ　５９歳）

生まれ：山口県美祢市（美祢郡）美東町

経歴　1982 年　美東中学校卒業

1985 年　山口高校９１期卒業

1989 年　広島大学理学部物理学科卒業

1989 年　日本電信電話株式会社(NTT)入社

岡山→広島→東京→大阪→島根→京都→滋賀→奈良(現在)

主に法人営業部として企業、自治体への電気通信設備の営業、SE 業務

趣味　弓道（四段）

マラソン（フルマラソン１５回完走、最近はもっぱらジム通い）

星空撮影

２．本日の内容　「星空へのいざない。～１光年から１３８億光年の世界～」

概要：中学生の頃、親に望遠鏡を買ってもらい、夜な夜な山口の家の庭から星空を眺めながら過ごした時代がありました。初めて見た月のクレータ、木星の縞模様、土星の環を見たときの感動は今でも覚えています。その後大学、社会人となる中こうした趣味からは縁遠いところでありましたが、子供が中学生に成長したときに昔を思い出し星空を時折、眺めるようになり、望遠鏡も少しずつ揃えてきて、星空の写真を撮り始めるようになりました。それから年々撮影技術も向上してきて、星空の魅力にとりつかれ、撮りためた星空写真を紹介したいと思います。

レジュメ：

① イントロ　2012 年のビックイベント
- 2012 年に起こった金環日食と金星の太陽面通過の紹介

② 1 光年の世界　太陽系の星たち
- 地球の惑星である月、および太陽の周りを回る水星～土星の惑星たちの紹介

③　１０万光年の世界　星雲、星団たち
- 天の川銀河にある星雲、星団たちの紹介

④　１３８億光年の世界　様々な銀河たち
- 天の川銀河から外にある各種銀河団の紹介

⑤ 星野写真の紹介
- 星と風景を収めた星野写真という領域の紹介

内容のポイント：

大阪市内や、近郊の都市に住んでいると、夜中星空を見ても２等星ぐらいの星までしか見ることができず、なかなかそれ以上の星空を見る機会は少ないと思います。時折地方へ旅行などして見た星空に感動したという機会があると思います。本来人間の肉眼では６等星までの星を見ることができます。全天にある６等星までの星の数は約８６００個あります。昼と夜があるので一度に見ることができる星というのはその半分の４０００個以上あることとなります。特に皆さんが星空として興味があるのは「天の川」と呼ばれる星空ではないでしょうか？そうした星空を約１０年に渡って撮影してきましたので、その星空を紹介させていただきます。

星のうた　一覧

星に願いを When You Wish Upon A Star

ディズニー映画「ピノキオ」主題歌　おもちゃ職人のゼペットの願い

きらきら星 Twinkle, Twinkle, Little Star

きらきら光る　お空の星よ♪

スターライト・スターブライト Star Light, Star Bright

ディズニーランドの花火ショーでも歌われたマザーグース

星の世界（星の界）

かがやく夜空の　星の光よ♪ 原曲は賛美歌『いつくしみ深き』

見上げてごらん夜の星を

小さな星の　小さな光が　ささやかな幸せを　うたってる

昴 すばる 谷村新司

我は行く　蒼白き頬のままで　我は行く　さらば昴よ

星めぐりの歌　宮沢賢治

あかいめだまの　さそり　ひろげた鷲の　つばさ

冬の星座　ヘイス

ものみな　いこえる　しじまの中に　きらめき揺れつつ　星座はめぐる

一番星みつけた

一番星みつけた　あれあの森の　杉の木の上に

この広い野原いっぱい　歌詞の由来　森山良子

この広い夜空いっぱい　咲く星を　ひとつ残らず　あなたにあげる

地上の星 歌詞と解説 中島みゆき

「プロジェクトX」主題歌としてロングヒットした中島みゆきの代表曲

浜辺の歌

寄する波よ　かえす波よ　月の色も　星のかげも

砂山（海は荒海 向こうは佐渡よ）

すずめなけなけ　もう日は暮れた　みんな呼べ呼べ　お星さま出たぞ

きらきら星変奏曲 モーツァルト

原曲はフランス歌曲『ああ、話したいの、ママ』

おもちゃのチャチャチャ

空にきらきらお星さま　みんなスヤスヤ眠るころ♪

星かげさやかに（燃えろよ燃えろ／一日の終わり）

キャンプファイヤーなどのレクリエーションや野外活動で歌われる

星は光りぬ（星はきらめき）

輝く星々　香る大地　永遠に消え去った僕の愛の夢

エストレリータ Estrellita

曲名は「小さな星」を意味する。ハイフェッツ編曲によるヴァイオリン演奏が有名。

追憶（星影やさしく またたくみ空）

澄みゆく心に　しのばるる昔　ああ　なつかしその日

七夕 たなばた

たなばたさま　七夕様

笹の葉サラサラ　お星さまキラキラ

おりひめ星（織姫・織女）こと座のベガ

わし座のアルタイル（彦星）、はくちょう座のデネブとともに、夏の大三角形を形作っている。

彦星 ひこぼし わし座のアルタイル

七夕伝説では、働き者の牛飼いとして、彦星・牽牛星の名で知られている。

惑星・衛星のうた・音楽

木星（ジュピター）

ホルスト組曲『惑星』より第4曲

組曲『惑星 The Planets』ホルスト

火星、金星、水星、木星、土星、天王星、海王星の7曲

月のうた　一覧

『月（出た出た月が）』、『炭坑節（月が出た出た）』、『月の沙漠』、『うさぎ』

合唱曲

コスモス COSMOS

君は宇宙　君は星　熱く流れる百億年の歴史

この星に生まれて

広い宇宙のこの星に　何かを探して生まれた僕ら

クリスマスソング・キャロル

きよしこの夜（サイレント・ナイト）

清し この夜　星は光り

さやかに星はきらめき（オー・ホーリー・ナイト）

さやかに星はきらめき　御子イエス生まれ給う

星の絵画（ゴッホ）

糸杉と星の見える道　ゴッホ

死の象徴イトスギを中央に配したゴッホ晩年の代表作

星月夜　ほしづきよ　ゴッホ

南フランスの聖ポール療養院でゴッホが見た星空とは？

大三角

夏の大三角　探し方・見え方

七夕の織姫と彦星にも関連する夏の夜の壮大なトライアングル

冬の大三角　見つけ方・覚え方　冬の星座

まずはオリオン座を見つけよう！次は明るいシリウス！

今日の写真 930　「 新山口市庁舎 」　　古谷眞之助

築 60 年を経過した山口市庁舎の建て替え工事が完了して業務が始まったので、先日見学して来た。ご覧のように一番下が地階とされ、現在は一般駐車場となっているが、将来は公用車駐車場となるそうだ。事務室などは 1～6 階である。市長室は 4 階、5 階には消防本部、6 階は議会関連である。議事堂を覗いてみたいと思ったのだが、入れなかった。これは後でわかったことだが、6 階はどうやら立ち入り禁止らしかった。この庁舎だけで建設費は約 140 億円。市の「山口市新本庁舎等基本設計【概要版】」によると、「第二期工事となる市民交流棟、309 台収容できる新立体駐車場、その他の建設費・整備費を合算すると 190 億円近くなるらしい。あるいは一部報道のあったように建設資材の高騰によって、これをオーバーする確率は高い、と思う。小写真上の古い建物は壊されて、2,3 年後には市民交流広場と新立体駐車場には建替えられる。いずれにせよ、旧庁舎は元山口大学教育学部だったわけで老朽化しており、新庁舎建設は避けて通れなかったとも思う。小写真中は、庁舎から見るサビエル記念聖堂で、奥には小さく県庁舎も見える。下は山口市民会館である。市民会館やサビエル記念聖堂のこんなシーンが見られるとは思ってもいなかった。

ところでふと思い出すのは、かつてこの新庁舎の下に活断層が走っているとかいないとか議論されたことである。走っていないと結論付けたのは山口大学で、走っていると言ったのは同じ山口大学の元教授である。その後、市は活断層ナシと結論付けたのだろうが、本当に大丈夫か、とついつい思ってしまう。（ 2025.6.9 記 ）

心を
寄せあい
あたたかい
社会を

真摯さ

恥の多い生涯を送って来ました――著名な小説で知られるこの一節、多くの人が共鳴できるのではないだろうか。

授業で当てられたが答えられなかった。仕事で失態を演じた。大事な試合で平凡なミスをした。恥の出所は列挙すれば似たようなものである。

ただ、恥のほとんどは突きつめれば体裁の悪さに過ぎず、努力をして克服すれば、若気の至りの恥などすぐに挽回、むしろ勲章になったりする。

気をつけたいのは、大人になってからの恥ではないだろうか。公共の場でみっともない振舞いをする。指摘されてもごまかしたり、さらに分別のない行動に走ったりとなれば、結果としてより恥ずべき事態になってしまう。

謝るべきときに謝れない。八方美人になる。損得で行動する等々、人として信義にもとる自分に気づけないとすれば、残念な話であろう。

失敗や不名誉は誰にでも起こり得る。しかし、そんなときこそ、真摯でありたい。裏表のない潔さ、謙虚さがあって信頼も保たれる。これが年を取るほど難しくなっていく。